

令和6年度（2024年度）八代高等学校シラバス

教科	地理歴史科	科目	日本史探究
学年・類型	3年・文理	単位数	4
教科書	詳説日本史探究（山川出版社）		
副教材	新詳日本史（浜島書店） 新日本史研究ノート・標準編（啓隆社）		
科目目標	<p>(1) わが国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察し、わが国の文化と伝統の特色についての認識を深めることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる「日本人」としての資質を養う。</p> <p>(2) 歴史を考察する基本的な方法を理解するとともに、主題を設定して追究する学習、地域社会にかかわる学習を通して、歴史への関心を高め、歴史的な見方や考え方を身につける。</p>		
学習方法	教科書・副教材を中心に、基本的な知識・技能を身につける。さらに史料解釈・論述課題・ペアワークなどをおして、思考・判断・表現や主体的に学習に取り組む態度を養う。		

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
我が国の歴史を、世界史的視野に立ち、政治、経済、社会、文化、国際環境など歴史を構成する要素を総合した幅広い見方で大きく把握する。その上で、歴史用語の基本的な知識を身につけるとともに、歴史資料を正しく読み取る力を身につける。	諸事象の本質をその歴史的な形成・展開の過程の実証的な考察によってとらえる歴史的な見方や考え方を培うと同時に、各時代の国家・社会の特色や時代の変遷に関わる総合的な考察を通じて、我が国の文化がどのような特色をもち、どのような伝統が形成されてきたかについての認識を深める。	提示された課題学習や自発的な学習活動を通じて、歴史的な思考力の育成を積極的に図るとともに、国際社会に主体的に生き平和的で民主的な国家・社会を形成する日本国民としての自覚と資質を養う。

評価方法		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 定期考査 ② 確認テスト	① 定期考査 ② 提出課題	① 提出課題 ② 授業中の取組

各学期及び学年の成績算出方法について
観点別評価 ① 知識・技能 40% ② 思考・判断・技能 40% ③ 主体的に学習に取り組む態度 20%

学期	学習内容	評価規準（到達目標B規準）と到達度チェック（自己評価）			評価方法
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1 学期	第1章 日本文化のあけぼの	<input type="checkbox"/> 旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解している。	<input type="checkbox"/> 自然環境と人間の生活の関わり、中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現している。	<input type="checkbox"/> 旧石器時代・縄文時代・弥生時代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を示している。	知① 思① 主① 知② 思② 主② など
	第2章 古墳とヤマト政権	<input type="checkbox"/> 国家の形成と古墳文化の成立過程などを基に、古代の政治・社会や文化の特色を理解している。また、ヤマト政権による国家の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察している。	<input type="checkbox"/> 中国大陸・朝鮮半島との関係と政治や文化への影響などに着目して、小国の形成と連合、古代の国家の形成過程について、多面的・多角的に考察し、表現している。 <input type="checkbox"/> ヤマト政権の展開や、渡来人によって伝えられた文化に着目して、古墳時代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。	<input type="checkbox"/> ヤマト政権の成立と古墳文化に関わる諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を示している。	知① 思① 主① 知② 思② 主② など
	第3章 律令国家の形成	<input type="checkbox"/> 律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、古代の政治・社会や文化の特色を理解している。	<input type="checkbox"/> 中国大陸・朝鮮半島との関係、隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、古代の国家の形成過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 <input type="checkbox"/> 律令国家形成期の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。	<input type="checkbox"/> 律令政治の導入と、それにとともなう社会の変化について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察を通して深い理解を求めている。	知① 思① 主① 知② 思② 主② など
	第4章 貴族政治の展開	<input type="checkbox"/> 貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、律令体制の再編	<input type="checkbox"/> 地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目	<input type="checkbox"/> 平安時代の国家・社会の変容について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに	知① 思① 主①

	と変容、古代の社会と文化の変容を理解している。また、藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察している。	して、主題を設定し、古代の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。	に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。	知② 思② 主② など
第5章 院政と武士の躍進	<input type="checkbox"/> 貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解している。	<input type="checkbox"/> 権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目して、古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。 <input type="checkbox"/> 時代の転換に着目して、中世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。	<input type="checkbox"/> 貴族政治の変容や武家政権の成立、当該期の世界との関わりについて、課題を主体的に探究しようとする態度を示している。	知① 思① 主① 知② 思② 主② など
第6章 武家政権の成立	<input type="checkbox"/> 武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解している。	<input type="checkbox"/> 公武関係の変化、宋・元（モンゴル帝国）などユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。	<input type="checkbox"/> 武家政権の成立と展開、鎌倉時代の産業・文化の発展、公武関係の変化、ユーラシアとの交流などについて、課題を主体的に探究しようとする態度を示している。	知① 思① 主① 知② 思② 主② など
第7章 武家社会の成長	<input type="checkbox"/> 武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解している。	<input type="checkbox"/> 社会や経済の変化とその影響、東アジアの国際情勢の変化とその影響、地域の多様性、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現している。	<input type="checkbox"/> 中世の国家や社会の変容に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を示している。	知① 思① 主① 知② 思② 主② など

2 学 期	第8章 近世の幕開け	<input type="checkbox"/> 織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解している。また、大航海時代と呼ばれる世界史的背景を踏まえて、ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を考察している。	<input type="checkbox"/> 村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。 <input type="checkbox"/> ・時代の転換に着目して、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。	<input type="checkbox"/> 織豊政権の成立前後からの歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。	知① 思① 主① 知② 思② 主② など
	第9章 幕藩体制の成立と展開	<input type="checkbox"/> 法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などを基に、幕藩体制の確立、産業の発達、近世の社会と文化の特色を理解している。	<input type="checkbox"/> 織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係、社会・経済の仕組みの変化、などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現している。	<input type="checkbox"/> 近世の国家・社会の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を示している。	知① 思① 主① 知② 思② 主② など
	第10章 幕藩体制の動揺	<input type="checkbox"/> 産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解している。	<input type="checkbox"/> 社会・経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現している。	<input type="checkbox"/> 近世の国家・社会の変容に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。	知① 思① 主① 知② 思② 主② など

第11章 近世から近代へ	<input type="checkbox"/> 対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の時代の転換を理解している。	<input type="checkbox"/> 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。 <input type="checkbox"/> 時代の転換に着目して、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。	<input type="checkbox"/> 幕末の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を示している。	知① 思① 主① 知② 思② 主② など
第12章 近代国家の成立	<input type="checkbox"/> 大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争などを基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解している。	<input type="checkbox"/> アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変化、戦争が及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、近代の政治の展開と国際的地位の確立について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現している。	<input type="checkbox"/> 近代国家形成の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を示している。	知① 思① 主① 知② 思② 主② など
第13章 近代国家の成立	<input type="checkbox"/> 第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などを基に、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解している。 <input type="checkbox"/> 学問の発展や教育制度の拡充、社会問題の発生などを基に、近代の文化の特色、大衆社会の形成を理解している。 <input type="checkbox"/> 恐慌と国際関係などを基に、第二次世界大戦に至る過程を理解している。	<input type="checkbox"/> アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変化、戦争が及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、近代の政治の展開と国際的地位の確立について、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。 <input type="checkbox"/> 地域社会における労働や生活の変化、教育の普及とその影響などに着目して、主題を設定し、日本の工業化の進展、近代の文化の形成について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現している。	<input type="checkbox"/> 第一次世界大戦とその後の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を示している。	知① 思① 主① 知② 思② 主② など

3 学 期	第14章 近代の産業と生活	<input type="checkbox"/> 産業革命の展開、交通の整備と産業構造の変容、学問の発展や教育制度の拡充、社会問題の発生などを基に、産業の発展の経緯と近代の文化の特色を理解している。	<input type="checkbox"/> 欧米の思想・文化の影響、産業の発達背景と影響、地域社会における労働や生活の変化、教育の普及とその影響などに着目して、主題を設定し、日本の工業化の進展、近代の文化の形成について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現している。	<input type="checkbox"/> 産業革命によって生じた問題と、現代の社会問題との共通点・相違点について主体的に追究して、学習したことを現代の社会問題の解決に生かそうとしている。	知① 思① 主① 知② 思② 主② など
	第15章 恐慌と第二次世界大戦	<input type="checkbox"/> 軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解している。	<input type="checkbox"/> 国際社会やアジア近隣諸国との関係、政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、主題を設定し、第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現している。	<input type="checkbox"/> 十五年戦争の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を示している。	知① 思① 主① 知② 思② 主② など
	第16章 占領下の日本	<input type="checkbox"/> 占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、平和条約と日本の独立の回復、戦後の経済復興、アジア諸国との関係、高度経済成長、社会・経済・情報の国際化などを基に、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解している。	<input type="checkbox"/> 第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違、冷戦の影響、国民生活や地域社会の変化などに着目して、主題を設定し、戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開、日本経済の発展、第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現している。	<input type="checkbox"/> 戦後日本の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を示している。	知① 思① 主① 知② 思② 主② など